

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

No. 72
2022年
3月10日

住民投票の否定は「自治基本条例」と矛盾する

「住民投票を実現する会・米子」共同代表 松本 薫さん

1月から2月にかけて、米子市・松江市・境港市で、島根原発稼働の是非を問う住民投票条例制定の直接請求が行われ、三市とも市議会が否決されました。私は「住民投票を実現する会・米子」の共同代表の一人であり、結果はとても残念ですが、やってきたことには意味があったと思っています。紙面を借りて、米子の活動を振り返ってみたいと思います。

9月に審査合格が発表された。共同代表になったものの、私は住民投票についてほとんど何も知らず、ほかの代表の方や世話人の皆さん、事務局の方たちと勉強を重ねました。半年くらい経った頃、会のあり方について議論になり、個人としては稼働に賛成・反対あるのが当然ながら、会としては中立を貫くことを決めました。市民の総意を示すために、住民投票の実現をめざす。「民主主義のバージョンアップ」が大きな目的でした。

米子市議会での否決

「島根原発稼働の是非を問う住民投票を実現する会・米子」は、2019年の暮れに準備会を立ち上げました。島根原発2号機は福島原発事故の翌年から止まっています。格が近いとされる状況で、このまま稼働に進んでいいのか、住民の意思を問うべきではないか、という思いから作られた会で

9月に審査合格が発表された。原発の周辺自治体である米子市も、市長が中国電力に対して意見を述べる時期が近づいていました。11月19日から住民投票条例制定を求める署名活動を始め、1カ月間で1万3364筆の賛同署名を得ました。直接請求には有権者の50分の1以上の署名が必要ですが、必要数の5・7倍、有権者の約11%です。同じ時期に境港市でも署名活動が行われ、少し後に松江市でも、さらに年が

1月に米子市長に直接請求を行いました。市長は住民投票条例に「反対」の意見を付けて、議会に提案しました。「原発は国策であるから、国が責任を持って決めること」「賛成・反対の二択では多様な意見が反映されない」の2点が反対理由でした。「国に従う」というのは首長としてあまりにも無責任だし、市長が述べる意見は稼働を「認める」か「否」かで上で議会討議をしてほしいというのが、私たちや署名してくれた人たちの

「原発稼働は住民投票で決めるのがよい」を選ぶ人が圧倒的多数で、力づけられました。

市議会議員の中には、過去の「中海淡水化の是非を問う住民投票」に比べて数が少ないことを指摘する方もありましたが、政治や住民運動への関心が低下している中で、これだけの署名が集まった

「迷っていたが、いろいろな声を聞いて賛成した」と言われる議員もあり、硬直した議会に一石を投じることができたのではないかと思います。米子市には、市民が主体的にまちづくりに参加することを掲げた「自治基本条例」があり、「市政の特に重要な事項について、市民投票を行うことができる」とされています。島根原発の稼働が市民にとって重要な問題であることは、どの議員もそうだとおっしゃるのに、それでいて住民投票を否定するのは矛盾ではないかと感じます。重要なのは行政と議会に任せて、何も言うなどというのでは、民主主義とは言えないで

「原発稼働は住民投票で決めるのがよい」を選ぶ人が圧倒的多数で、力づけられました。

市議会議員の中には、過去の「中海淡水化の是非を問う住民投票」に比べて数が少ないことを指摘する方もありましたが、政治や住民運動への関心が低下している中で、これだけの署名が集まった

「迷っていたが、いろいろな声を聞いて賛成した」と言われる議員もあり、硬直した議会に一石を投じることができたのではないかと思います。米子市には、市民が主体的にまちづくりに参加することを掲げた「自治基本条例」があり、「市政の特に重要な事項について、市民投票を行うことができる」とされています。島根原発の稼働が市民にとって重要な問題であることは、どの議員もそうだとおっしゃるのに、それでいて住民投票を否定するのは矛盾ではないかと感じます。重要なのは行政と議会に任せて、何も言うなどというのでは、民主主義とは言えないで

会の発足から署名まで

「島根原発稼働の是非を問う住民投票を実現する会・米子」は、2019年の暮れに準備会を立ち上げました。島根原発2号機は福島原発事故の翌年から止まっています。格が近いとされる状況で、このまま稼働に進んでいいのか、住民の意思を問うべきではないか、という思いから作られた会で

9月に審査合格が発表された。原発の周辺自治体である米子市も、市長が中国電力に対して意見を述べる時期が近づいていました。11月19日から住民投票条例制定を求める署名活動を始め、1カ月間で1万3364筆の賛同署名を得ました。直接請求には有権者の50分の1以上の署名が必要ですが、必要数の5・7倍、有権者の約11%です。同じ時期に境港市でも署名活動が行われ、少し後に松江市でも、さらに年が

1月に米子市長に直接請求を行いました。市長は住民投票条例に「反対」の意見を付けて、議会に提案しました。「原発は国策であるから、国が責任を持って決めること」「賛成・反対の二択では多様な意見が反映されない」の2点が反対理由でした。「国に従う」というのは首長としてあまりにも無責任だし、市長が述べる意見は稼働を「認める」か「否」かで上で議会討議をしてほしいというのが、私たちや署名してくれた人たちの

「原発稼働は住民投票で決めるのがよい」を選ぶ人が圧倒的多数で、力づけられました。

市議会議員の中には、過去の「中海淡水化の是非を問う住民投票」に比べて数が少ないことを指摘する方もありましたが、政治や住民運動への関心が低下している中で、これだけの署名が集まった

「迷っていたが、いろいろな声を聞いて賛成した」と言われる議員もあり、硬直した議会に一石を投じることができたのではないかと思います。米子市には、市民が主体的にまちづくりに参加することを掲げた「自治基本条例」があり、「市政の特に重要な事項について、市民投票を行うことができる」とされています。島根原発の稼働が市民にとって重要な問題であることは、どの議員もそうだとおっしゃるのに、それでいて住民投票を否定するのは矛盾ではないかと感じます。重要なのは行政と議会に任せて、何も言うなどというのでは、民主主義とは言えないで

「原発稼働は住民投票で決めるのがよい」を選ぶ人が圧倒的多数で、力づけられました。

市議会議員の中には、過去の「中海淡水化の是非を問う住民投票」に比べて数が少ないことを指摘する方もありましたが、政治や住民運動への関心が低下している中で、これだけの署名が集まった

「迷っていたが、いろいろな声を聞いて賛成した」と言われる議員もあり、硬直した議会に一石を投じることができたのではないかと思います。米子市には、市民が主体的にまちづくりに参加することを掲げた「自治基本条例」があり、「市政の特に重要な事項について、市民投票を行うことができる」とされています。島根原発の稼働が市民にとって重要な問題であることは、どの議員もそうだとおっしゃるのに、それでいて住民投票を否定するのは矛盾ではないかと感じます。重要なのは行政と議会に任せて、何も言うなどというのでは、民主主義とは言えないで

「原発稼働は住民投票で決めるのがよい」を選ぶ人が圧倒的多数で、力づけられました。

市議会議員の中には、過去の「中海淡水化の是非を問う住民投票」に比べて数が少ないことを指摘する方もありましたが、政治や住民運動への関心が低下している中で、これだけの署名が集まった

「迷っていたが、いろいろな声を聞いて賛成した」と言われる議員もあり、硬直した議会に一石を投じることができたのではないかと思います。米子市には、市民が主体的にまちづくりに参加することを掲げた「自治基本条例」があり、「市政の特に重要な事項について、市民投票を行うことができる」とされています。島根原発の稼働が市民にとって重要な問題であることは、どの議員もそうだとおっしゃるのに、それでいて住民投票を否定するのは矛盾ではないかと感じます。重要なのは行政と議会に任せて、何も言うなどというのでは、民主主義とは言えないで

「原発稼働は住民投票で決めるのがよい」を選ぶ人が圧倒的多数で、力づけられました。

市議会議員の中には、過去の「中海淡水化の是非を問う住民投票」に比べて数が少ないことを指摘する方もありましたが、政治や住民運動への関心が低下している中で、これだけの署名が集まった

「迷っていたが、いろいろな声を聞いて賛成した」と言われる議員もあり、硬直した議会に一石を投じることができたのではないかと思います。米子市には、市民が主体的にまちづくりに参加することを掲げた「自治基本条例」があり、「市政の特に重要な事項について、市民投票を行うことができる」とされています。島根原発の稼働が市民にとって重要な問題であることは、どの議員もそうだとおっしゃるのに、それでいて住民投票を否定するのは矛盾ではないかと感じます。重要なのは行政と議会に任せて、何も言うなどというのでは、民主主義とは言えないで

「原発稼働は住民投票で決めるのがよい」を選ぶ人が圧倒的多数で、力づけられました。

市議会議員の中には、過去の「中海淡水化の是非を問う住民投票」に比べて数が少ないことを指摘する方もありましたが、政治や住民運動への関心が低下している中で、これだけの署名が集まった

「迷っていたが、いろいろな声を聞いて賛成した」と言われる議員もあり、硬直した議会に一石を投じることができたのではないかと思います。米子市には、市民が主体的にまちづくりに参加することを掲げた「自治基本条例」があり、「市政の特に重要な事項について、市民投票を行うことができる」とされています。島根原発の稼働が市民にとって重要な問題であることは、どの議員もそうだとおっしゃるのに、それでいて住民投票を否定するのは矛盾ではないかと感じます。重要なのは行政と議会に任せて、何も言うなどというのでは、民主主義とは言えないで

「原発稼働は住民投票で決めるのがよい」を選ぶ人が圧倒的多数で、力づけられました。

市議会議員の中には、過去の「中海淡水化の是非を問う住民投票」に比べて数が少ないことを指摘する方もありましたが、政治や住民運動への関心が低下している中で、これだけの署名が集まった

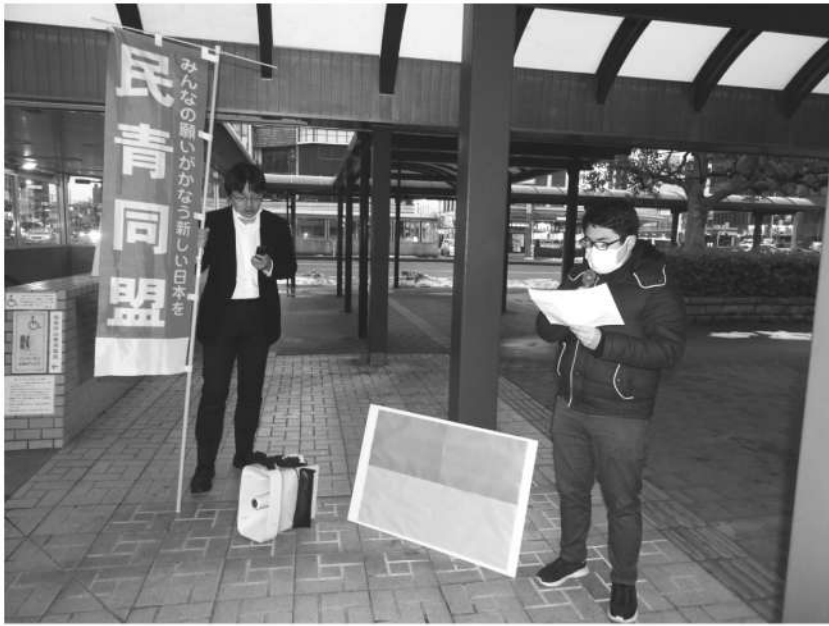
「迷っていたが、いろいろな声を聞いて賛成した」と言われる議員もあり、硬直した議会に一石を投じることができたのではないかと思います。米子市には、市民が主体的にまちづくりに参加することを掲げた「自治基本条例」があり、「市政の特に重要な事項について、市民投票を行うことができる」とされています。島根原発の稼働が市民にとって重要な問題であることは、どの議員もそうだとおっしゃるのに、それでいて住民投票を否定するのは矛盾ではないかと感じます。重要なのは行政と議会に任せて、何も言うなどというのでは、民主主義とは言えないで

しよう。

まちづくりと民主主義

米子は「民の力」の強い町だと言われてきました。お上に頼らず、自分たちの力でまちづくりをしてきたことが自負であり、活気をもたらしている。たと年配の方々は言われます。今回の住民投票運動で、市長や議会の権威主義的な態度にはがっかりしましたが、米子の「民の力」が生きていることを感じられたのは嬉しいことでした。署名活動が始まる頃からメディアが取り上げてくれたおかげもあり、原発稼働への関心は高まりましたが、それは同時に、市民の要望が届くのかという関心でもあったと思います。

米子市長は議会後、「民主主義にのっとって否決した」と発言しましたが、それは民主主義とは別物です。異なる意見を持つ市民が意思を示し合い、その中から最善の道を探るのが民主主義のありようではないでしょうか。原発稼働だけでなく、まちづくりや地域づくりには、住民の意思が尊重されることが何より大切だと思います。



ロシアのウクライナ侵略に抗議する杉本委員長(右)＝1日、鳥取市

今すぐ軍事行動をやめよ！

鳥取駅前で民青同盟が訴え

2月24日、ロシアはウクライナに侵攻を開始しました。ウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章と国際法を踏みにじる紛れもない侵略行為です。民青同盟鳥取県委員会は、私たちにできることはいないかと鳥取駅前での街頭宣伝を行いました。ウクライナ国旗に模したプラスタターを掲げ、マイクで「今すぐ軍事行動をやめよ」と訴えました。通りがかりの高校生が近寄ってきて元気な声で「こんにちは」と反応がありました。プーチン大統領は今回の軍事行動について、ウクライナ東部地域の「要請」を受けたもので、国連憲章第51条の「集団的自衛」だとしています。しかし、ロシアが一方的に「独立」を認めた地域・集団との集団的自衛など国際法上ありえない暴論です。また、プーチン大統領は、ウクライナの「脱軍事化、脱ナチス化」を進めると述べ、東部にとどまらず、ウクライナ全土でロシア軍を展開させています。ウクライナを独立国・主権国家として認めない道理のない態度です。

また、プーチン大統領は、この侵略行為にあたって、ロシアが核兵器大国であることを誇示し、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せています。核兵器による威嚇は、今日の世界において決して許されるものではありません。

ウクライナの青年・国民の命が奪われ、暮らしが破壊されています。世界・日本中の青年・国民が怒りと不安を募らせています。国際社会がロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し侵略を止めさせることを呼びかけます。私たちも継続して呼びかけを行います。

民青同盟県委員長
杉本純平

全国革新懇は3日、ロシアによるウクライナ侵略を糾弾するアピールを発表しました。全文は次の通りです。

ロシアは2月24日、ウクライナに武力侵攻した。これはウクライナ国民のいのちを奪い、主権と領土を侵す、まぎれもない侵略戦争である。全国革新懇は、国連憲章、国際平和秩序をふみにじる暴挙として怒りをこめて糾弾するとともに、ロシア軍の即時撤退をきびしく要求する。またプーチン大統領が欧米の批判や制裁の動きなどにたいし、くりかえし核兵器による威嚇をおこなっていることに特別の注意を喚起し、厳重に抗議する。

全国革新懇は、ウクライナの人びとに心を寄せ、全世界

で沸き起こっている諸国民のプーチン糾弾と平和を求める世論と運動、諸国政府の動きに連帯し、ロシアを包囲し、ウクライナ侵略をやめさせる世論を高めるために全力を尽くすものである。

このとき安倍元首相ら日本の一部が、「憲法9条は無力論」「核兵器共有論」を声高に叫んでいることを見逃さず、この平和秩序の回復に背を向けて、「力の論理」を信奉するものであり、これは、日本がふたたび侵略戦争する道をひらき、また日本を戦場化する

る危険な謬論である。「憲法9条」こそ、プーチン大統領のような国民の安全と自由を脅かす強権政治があらわれ、ふたたび侵略戦争をおこすことを許さない保障となるものである。

全国革新懇は、一刻も早いウクライナの平和の回復へ、侵略戦争反対の一点で力を合わせることをよびかけるものである。

2022年3月3日

平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇）代表世話人会

ロシアのウクライナ侵略を糾弾し、ただちに撤退することを要求する

「原爆・原発・被ばく」の現状を考え、伝えるために

3/13日 13:30 (13:00開場)

上映会 & トーク

鳥取市人権交流プラザ 大ホール 約40台駐車可
(鳥取市幸町151番地)

参加費:1000円 (高校生以下 無料) 上映中のみ 託児あり

NOTRE AMI L'ATOME
軍事と平和利用、核兵器と原子力、核二元論を統合するために

我が友 原子力
放射能の世紀

13:30~14:30 「我が友原子力～放射能の世紀～」上映
14:45~16:20 オンライントークセッション
放射能の世紀を語る～原爆・原発・被ばく～
14:50~ 「11年後の福島。原発事故の傷跡とともに。」
水藤 周三さん (いわき放射能市民測定室たちね放射能測定ラボスタッフ)
15:20~ 「第五福竜丸から世界に広がる核被害を考える」
安田 和也さん (都立第五福竜丸展示館主任学芸員)

主催: えねみら・とっとり (エネルギーの未来を考える会) 脱原発しよいや in とっとり
連絡先: 080-6173-1318 (託児申し込みは3/10まで)

県革新懇は、オンラインによる「憲法を考える講演会」を計画しています。4月中の開催をめざして、いま講師予定者と折衝しています。日時が確定次第チラシ等でお知らせします。